

# 用水路生態調査

水産科 3年 山崎友照, 千葉滉太, 益子匠

## 1. はじめに

私たちは、前々から生物調査に興味があり課題研究で、調査する場所を探していました。

そこで思いついたのが、実習場の前を流れている水路です。その水路は、実習場の池に流れこんでいて、自分たちにも身近だったためそこを調査することにしました。

## 2. 用水路の利点

- ・大型の肉食魚が侵入しにくい。
- ・河川の増水時に逃げ込める。
- ・隠れ場が多い。

## 3. 調査方法

用意するもの

生物調査用の網×2 (網目が細かくないもの)

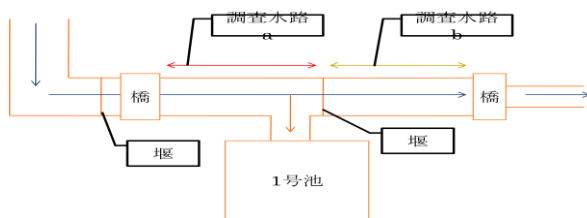
タライ×2, バケツ×1, 定規

調査方法

- ①水路の両端に網を入れる。
- ②人力で追い込む。
- ③捕れた魚類を集計する。
- ④1回の調査で3回網を入れる。



## 4. 調査場所



見取り図



調査水路の写真

## 5. 調査結果

計5回の調査では、ドジョウ 15尾 (平均 5.82 cm)、モツゴ 1尾 (7.5 cm)、アカハライモリ 1尾 (11.5 cm)、何かの稚魚 1尾 (1 cm以下)、その他貝類が大量採取できました。

## 6. 考察

去年の生物調査では多くのドジョウ、雑魚などの生物が、獲れたが今年の調査ではあまり多くの生物を採取できませんでした。そこで考えられるのが、生物の生息している場所が昨年に比べて、何らかの変化があり、生息していた生物に何らかの影響を与えたのではないかとことです。

## 7. 感想

今年度の調査によって、用水路などの狭いところでは、少しの環境の変化によって生物に影響を与えることが分かりました。僕たちは3年生なので、この研究を続けることはできませんが、時間があれば環境についての調査もやってみたかったです。